

国際法学会 2019 年度研究大会  
公募（パネル）審査結果

2019 年 3 月 21 日  
研究企画委員会

国際法学会の 2019 年度研究大会におけるパネルを公募してありましたところ、ご応募を頂き、誠にありがとうございました。研究企画委員会において審査を行いました結果、下記のように採用が決定されましたので、お知らせいたします。

記

(1) 「平和構築過程における個人の権利保護・救済をめぐる国際法上の諸問題」

企画責任者 望月康恵（関西学院大学教授）

座長 佐藤哲夫（広島市立大学広島平和研究所教授）

報告者① 坂本一也（岐阜大学教授）

「平和構築活動に関わる国際機構のアカウントビリティー国際領域管理を素材として」

報告者② 清水奈名子（宇都宮大学学術院国際学部准教授）

「性的搾取・虐待の被害者救済と防止—国連平和活動に関わる事例を中心として」

報告者③ 望月康恵（関西学院大学教授）

「国際刑事裁判所（ICC）における被害者救済の取組み—平和構築機能としての意義と課題」

報告者④ 片柳真理（広島大学教授）

「平和構築の担い手に問われる人権規範—*Jus Post Bellum* 必要論の考察」

以上